

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

総合感冒薬

のどの痛み・発熱・せきに

ジキナ[®]IP錠

(イブプロフェン配合)

◆**ジキナIP錠**は、イブプロフェン、クレマスチンフマル酸塩、ブロムヘキシン塩酸塩など、計10成分を配合した総合感冒薬です。発熱やのどの痛みなど、かぜの諸症状に効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。
 - (1) 本剤又は本剤の成分、鶏卵によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - (3) 15才未満の小児
 - (4) 出産予定日12週以内の妊婦
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
5. 服用前後は飲酒しないでください。
6. 5日間を超えて服用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 高齢者
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (5) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - (7) 次の病気にかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
泌 尿 器	排尿困難
循 環 器	動悸、息切れ
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

裏面もお読みください。

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
便秘、下痢、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
（特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき）

効能・効果

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に水またはお湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
成人（15才以上）	3 錠	3 回
15才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

定められた用法・用量を厳守してください。

成分・分量 1日量（9錠）中

成 分	含 量	はたらき
イブプロフェン	450mg	熱を下げ、痛みをしずめます。
クレマスチンフマル酸塩	1.34mg (クレマスチンとして1mg)	かぜのアレルギー症状(鼻水、くしゃみ)を抑えます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢の異常な興奮を抑えてせきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、せきをしずめます。
リゾチーム塩酸塩	90mg(力価)	粘膜の炎症に効く酵素で、たんの粘度をさげて出しやすくします。
ブロムヘキシン塩酸塩	12mg	せきの原因となるたんを出しやすくします。
無水カフェイン	75mg	頭痛をしずめます。
ベンフォチアミン（ビタミンB ₁ ）	25mg	発熱時に消耗しがちなビタミンを補います。
リボフラビン（ビタミンB ₂ ）	12mg	
カンゾウ乾燥エキス	133.93mg (原生薬換算量：937.5mg)	のどの炎症を抑えます。

添加剤：乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、タルク、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、三二酸化鉄 含有

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、これは本剤中のリボフラビンによるものなので心配はいりません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（OTC学術室）
電話 （048）648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

製造販売元

株式会社 富士薬品

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地